

## 木材業界と SDGs !

最近、TV や新聞、インターネット等で SDGs (SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS) という言葉をよく見かけます。既報 276 号 (2019. 7) で紹介しましたが、当時は私自身「持続可能な開発目標」というだけで、具体的に何をすればよいのか見当が付きませんでした。ただ、木材は二酸化炭素を吸収し酸素を供給するほかに、治水や自然災害防止、水の供給、動植物を守る、フィトンチッド等による癒し効果など、今までも多くのことが言われてきたので、我々の業界には追い風になると漠然と思うだけでした。全国木材連合に「17 項目のうち、木材業界が意識して行うべき事は何か？」と問い合わせましたところ、「ゴール 6, 11, 13, 14, 15 を意識して活動したら良いのでは」とのアドバイスを頂きました。今月からそれぞれの目標について考えてみたいと思います。

### \* ゴール 6 : 安全な水とトイレを世界中に

世界には安全な飲み水さえ手に入らない地域が沢山あります。昨年、アフガニスタンで凶弾に倒れた中村医師は、「医療より水が先だ」と水路を作りました。また、明治初期、鹿児島の偉人、大久保利通は殖産興業の一つとして安積疎水事業を始め、猪苗代湖の水を、奥羽山脈を切り拓いて安積盆地へ導きました。いずれも地域の人々の生活の安全を願った活動でした。一方、我々木材関連業者は、日常業務として、植林→下草刈り→間伐→伐採(木材生産)→植林という循環を維持しています。これらの作業が、水を蓄え、安全な水を供給する等、大事な役割を果たしているという事を、自信をもってアピールしたいですね。また、水を大事に使う事も心掛けたいものです。知人はお風呂で石鹸のついたタオルをそのまま洗わずに、一回石鹸を絞り切ってから洗面器に広げて、洗わずに水を含ませるだけで再度絞る、これによりタオルを洗うための水の使用量が激減するという(洗濯機の脱水、濯ぎの要領)。温泉ではかけ流しだからどんな使い方をしていても同じだと思う方も多いでしょうが、節水を考えて、実行する習慣を身に付ける事が大事です。この他にもいろいろな節水方法があると思います。身の回りのことを自分なりに考えて、水を大事に使う事も大事な目標です。

ゴール 11・他の項目は次回以降で考えてみましょう。

### 【情報】

#### 木材の高騰が続いています！

集成材等外材の入荷減により、今まで輸入材で住宅を供給していたハウスメーカーが、契約履行の為、外材から国産材に仕様変更した為、杉 KD 構造材の供給不足・価格高騰が始まりました。連鎖的に、杉グリーン材、小割板材、原木迄高くなってきました。

入荷量が少ない為、価格面では折り合ったとしても入荷時期が確定できない等、混乱が続いています。早目の手当をお願いします。

### 【定休日】

6月 は 5, 6, 12, 13, 19, 20, 26, 27 日

7月 は 3, 4, 10, 11, 17, 18, 24, 25 日となります

宜しくお願いします



SDGs に貢献する森林・林業